

施策	1101 環境の保全						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民、職員						
施策が目指す姿	自然環境の保全、衛生環境の改善、河川環境の整備・管理、ごみの不法投棄の防止等を進める。						
成果指標	ごみの不法投棄量 5年間(H25～29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25～29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)						
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [m3]	予定	49.00	87.00	85.00	82.00	80.00
		実績	39.38	51.63	47.83		
	成果指標2 []	予定	12,795.00	16,830.00	16,660.00	16,490.00	16,320.00
		実績	17,671.00	16,410.00	24,930.00		
		単位コスト	107.69	111.71	68.37		
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	2,141,704	1,769,167	1,720,559			
	実績	1,903,069	1,833,097	1,704,463			
内 部 評 価	貢献度	本施策は公害対策や不法投棄、特にごみ収集委託委託事業費等、市民生活に直結しており大きく貢献する。					
	達成状況	単位施策においては達成度がおおむね100となった。					
	課題	達成度が100に満たなかった事業については、市民へ施策のより一層の周知や指標の一部見直しも必要である。					
	取組方針	現状に合わせて目標値の設定や事業内容などを柔軟に対応しながら、環境の保全に取り組む。市民の環境保全事業の参加が増加するよう広報、ホームページ等で周知に努める。					
外 部 評 価	ごみの不法投棄量は、成果指標の削減目標値を大きくクリアしているが、引き続き更なる削減に向けて、不法投棄防止の看板や監視カメラの増設、警察と連携した監視体制を強化すべきである。 また、不法投棄の監視について、企業に協力を依頼し、環境保全に対し協力的な企業や事業所を表彰並びに公表するなど、新たな取組みについても検討すべきである。 子どもの頃から環境保全に対する意識を高めるため、子どもたちの夏休み期間中に、環境保全に関する体験学習プログラムを企画・実行すべきと考える。 家電製品等の待機電力の無駄を避けるための節電の啓発推進を図られたい。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	150101	環境課一般経常事務費				12,650	100
	150102	環境衛生事務費(大平)				2,481	100
	150103	環境衛生事務費(藤岡)				1,155	100
	150104	環境衛生事務費(都賀)				366	100
	150105	環境衛生事務費(西方)				1,145	100
	150401	エネルギー使用量管理業務委託費				4,784	100
	152401	公害対策費				13,733	100
	152402	公害対策費(大平)				3,797	100
	152403	公害対策費(藤岡)				1,129	100
	152404	公害対策費(都賀)				795	100

平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	1101 環境の保全		
区分	妥当性	妥当	環境の保全についての評価は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業の集約や見直しなどによりコスト削減の余地がある。
	受益者負担	適正	受益者負担はないため適正である
	上位貢献度	有効	基本施策の成果指標達成には貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	ごみ収集等についての環境保全事業に類似の事業はない。
	成果向上の余地	有	今後適切に事業を行うことで、豊かな自然環境の保全の向上が見込まれる。
内部評価	貢献度		
	達成状況	ゴミの不法投棄を防止するため監視カメラを設置し、不法投棄の未然防止が図れると共に、市民に対して注意喚起をすることが出来た。	
	課題		
	取組方針		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040103	予算事業コード	150101	事業区分	01	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	環境課一般経常事務費											主	1101	豊かな自然環境の保全	環境の保全	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 環境課 環境政策係						担当者	関口聡子				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等				事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	45,000		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 環境審議会に関する事務 環境啓発に関する事務(親と子の水辺教室、出前講座等) 市民の生活環境の指導及び改善に関する事務 一般経常事務に関する事務 【主要事業(エコオフィス推進事業)】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 課内業務の円滑な執行と事務効率の改善を行い、温室効果ガスの排出を削減するとともに、市民の生活環境の保全及び改善を推進する。								
							成果 策目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)								

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		事業の事後評価												
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果 【事業の内容】 環境意識の啓発や生活環境の保全及び改善を行う。エコオフィス推進実行計画を推進した。 ・エコ推進員の設置・研修会の開催 ・温室効果ガス排出量調査 ・緑のカーテンの普及啓発 ・電気使用量監視システムの運用 ・環境基本計画の推進・普及啓発 【成果】 出前講座イベント参加者数 867人		平成26年度			平成27年度			事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	県支出金	0	0			【事業の内容】 環境意識の啓発や生活環境の保全及び改善を行う。エコオフィス推進実行計画H28~5年間の計画を策定した。 ・エコオフィス推進職員研修会の開催 ・温室効果ガス排出量調査 ・電気使用量監視システムの運用 ・クールシェア・ウォームシェア事業推進(節電) 【成果】 出前講座イベント参加者数 671人												
	地方債	0	0						妥当	無	適正	有効	無	有				
	その他特財	1,684	1,382															
	一般財源	5,195	4,518															
	事業費 a	6,879	5,900															
	人件費 b	0	6,750															
減価償却費 c	0	0																
総事業費 a+b+c	6,879	12,650	指標名		算出方法		単位											
結果指標 1	867.00	671.00	出前講座・イベント参加者数		出前講座・イベント参加者数 (H27目標値：50)		人											
結果指標 2	16,410.00	17,000.00	市有施設温室効果ガス排出量		温室効果ガス排出量 [t-co2] (H27目標値：12,485)													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 環境啓発事業(親と子の水辺教室や出前講座、イベントへの参加等)を積極的に行い、市民の環境意識の啓発に貢献した。 平成28年度から5年間のエコオフィス推進実行計画を策定し温室効果ガス削減のための事業を実施した。 今後さらに推進する。															

事後評価備考																
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155201	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	環境美化対策事業費（栃木）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 環境課 環境美化係					担当者	岩川 成生		従								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	8,787	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する業務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・美化キャンペーンの実施(本庁) ・栃木県清掃事業連絡協議会に関する事務 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみのないきれいで住みよいまちづくりを目指す。					
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込																	
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成26年度					平成27年度									
	県支出金	0	0		【事業内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施した。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・環境美化キャンペーン (本庁実施事業H26西方地域) 【成果】 ・看板貸出枚数80枚 ・美化キャンペーン(西方)参加人数150名					【事業内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・環境美化キャンペーン (本庁実施事業H27岩舟地域) 【成果】 ・看板貸出枚数57枚 ・美化キャンペーン(岩舟)参加人数130名									
	地方債	0	0																
	その他特財	170	282																
	一般財源	512	162																
	事業費 a	682	444																
	人件費 b	3,000	3,000																
減価償却費 c	0	0																	
総事業費 a+b+c	3,682	3,444																	
結果指標 1	80.00	57.00	指標名	環境美化に関する看板貸出枚数			算出方法	栃木地域の環境美化に関する看板貸出枚数 平成27年度目標値 50枚			単位	枚	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	150.00	130.00	環境美化活動参加者数	美化キャンペーン等の参加者数			平成27年度目標値 200人			人	妥当	無		適正	有効	無	有		

事業改善計画 (改善内容とその効果を具体的に記入)
 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進し、環境美化啓発を図りゴミのないきれいで住みよいまちづくりを実施した。イベントとしての美化キャンペーンの参加人数は目標に達しなかったが、地域の美化活動において多くの市民が参加をしている。

事後評価備考

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155202	事業区分	02	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策							
事業名	環境美化対策事業費(大平)										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全						
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 大平市民生 生活環境交通係						担当者	小林正明				従									
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H15 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	8,539 千円					
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・その他地域の環境美化推進に関する事務 ・クリーン大平の実施(大平地域) 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民、事業者、所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみの無い美しいまちをつくる。									
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)																			

単位: 千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込																					
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度 【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・クリーン大平の実施(大平地域) ・健康野菜作り(大平地域) 【成果】 ・市民の苦情に対して適切な対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。										平成27年度 【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・クリーン大平の実施(大平地域) ・健康野菜作り(大平地域) 【成果】 ・市民の苦情に対して適切な対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。									
	県支出金	0	0																				
	地方債	0	0																				
	その他特財	0	0																				
	一般財源	746	480																				
	事業費 a	746	480																				
	人件費 b	3,000	3,000																				
減価償却費 c	0	0	事業の内容その成果																				
総事業費 a+b+c	3,746	3,480	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価																	
結果指標 1	15.00	5.00	環境美化活動に関する看板貸出枚数	大平地域の環境美化に関する看板貸出枚数 H27目標値 15	枚	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地												
結果指標 2	8,321.00	7,168.00	美化活動参加者数	クリーン大平参加者数 H27目標値 5800	人	妥当	無	適正	有効	無	有												

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域清掃活動が引き続き活発に行われるよう啓発する。 今後ますます増加が見込まれる空き地の苦情に適切に対応する。										
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155203	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	環境美化対策事業費（藤岡）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 藤岡市民生 生活環境交通係					担当者	田中 正和			従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H16 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	2,600 千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援。 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみのない美しいまちづくりを目指す。				
						成果 策目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)				

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込	平成26年度		平成27年度								
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	【事業の内容】 環境美化活動の推進、環境美化意識の啓発 ・環境美化啓発用看板の作製、設置 ・ゴミゼロ運動の実施、地域清掃活動への支援 ・渡良瀬遊水地クリーン作戦の実施、清掃活動等の支援 【成果】 環境美化活動の推進が図られた。また、環境美化への意識向上が図られた。		【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・渡良瀬遊水地クリーン作戦の実施(藤岡地域) H28より遊水地課へ 【成果】 環境美化活動の推進が図られた。また、環境美化への意識向上が図られた。								
	県支出金		0											
	地方債		0											
	その他特財		0											
	一般財源		216	251										
	事業費 a		216	251										
	人件費 b		1,875	1,875										
減価償却費 c		0	0											
総事業費 a+b+c		2,091	2,126	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1		12.00	42.00	環境美化に関する看板貸出枚数	藤岡地域の環境美化に関する看板枚数	H27目標値50枚		枚	妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2														

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域清掃活動等については、ごみ袋の提供、クリーンプラザへの運搬等の支援を積極的に行う。												
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考													
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155204	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	環境美化対策事業費（都賀）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 都賀市民生 生活環境交通係					担当者	鈴木 健司			従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等				事業期間	H18 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	2,509		千円		

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・その他地域の環境美化推進に関する事務 ・ごみゼロの日清掃活動の実施 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみの無い美しいまちづくりをめざす。				
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)									

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		事業の事後評価								
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成26年度			平成27年度						
	県支出金	0	0		【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・ごみゼロの日清掃活動(都賀地域) 【成果】 ・市民の苦情に対し適切な対応ができた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。	【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・ごみゼロの日清掃活動(都賀地域) 【成果】 ・市民の苦情に対し適切な対応ができた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。			妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	地方債	0	0			【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・ごみゼロの日清掃活動(都賀地域) 【成果】 ・市民の苦情に対し適切な対応ができた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。								
	その他特財	0	0											
	一般財源		57											
	事業費 a	0	57											
	人件費 b	750	750											
減価償却費 c	0	0												
総事業費 a+b+c	750	807												
結果指標 1	13.00	11.00	環境美化に関する看板貸出枚数	H27目標値	看板設置・貸出枚数	10枚	枚	妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2	1,918.00	2,000.00	美化活動参加者数	H27目標値	ごみゼロの日清掃活動参加者数	2,000人	人	妥当	無	適正	有効	無	有	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 環境美化に関する看板等を作成し、それを貸し出すことにより、環境美化に関する意識の向上を図った。 美化キャンペーン等を行い、環境美化意識を向上させた。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155205	事業区分	02	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策						
事業名	環境美化対策事業費（西方）										主	1101	豊かな自然環境の保全			環境の保全					
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 西方市民生 生活環境交通係						担当者	寺内 史幸			従										
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		栃木市をきれいで住みよいまちにする条例						事業期間	H18 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	1,308 千円					
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みやすいまちにする条例の運用に関する業務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・その他地域の環境美化推進に関する事務 ・「美しいまちづくりの日」一斉活動の実施(西方地域) 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみのない美しいまちづくりを目指す。									
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)																			
単位：千円、人	平成26年度決算額		平成27年度決算見込		平成26年度						平成27年度										
事業費・指標の推移	国庫支出金	0		0		事業の内容 ・環境美化活動(美化啓発用看板貸出、地域清掃活動への支援、空き地の苦情相談、「美しいまちづくりの日」一斉清掃)の推進に必要な施策を実施する。 【成果】 ・市民の苦情に対して適切に対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。						事業の内容 ・環境美化活動(美化啓発用看板貸出、地域清掃活動への支援、空き地の苦情相談、「美しいまちづくりの日」一斉清掃)の推進に必要な施策を実施する。 【成果】 ・市民の苦情に対して適切に対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。									
	県支出金	0		0																	
	地方債	0		0																	
	その他特財	0		0																	
	一般財源	87		69																	
	事業費 a	87		69																	
	人件費 b	1,875		1,875																	
減価償却費 c	0		0																		
総事業費 a+b+c	1,962		1,944		指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地					
結果指標 1	2,857.00		2,000.00		各地域における美化活動参加者数	美しいまちづくりの日一斉清掃参加人数 2,000人			人		妥当	無	適正	有効	無	無					
結果指標 2	15.00		15.00		環境美化に関する看板貸出枚数	西方地域の環境美化に関する看板貸出枚数 15枚			枚												
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 「美しいまちづくりの日」一斉清掃の実施(年2回(6月、11月))及び美化キャンペーン等を行い、環境美化意識を向上させる。 また、環境美化に関する看板等を作成し、それを貸し出すことにより、環境美化に関する意識の向上を図る。																				
事後評価備考																					

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155206	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	環境美化対策事業費(岩舟)										主	1101	豊かな自然環境の保全			環境の保全		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 岩舟市民生 生活環境交通係						担当者	荻原 知巳			従	1101	豊かな自然環境の保全			環境の保全		
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例							事業期間	H26 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	984		千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・美化キャンペーンの実施(岩舟地域) 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 市民、事業者、所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみの無い美しいまちをつくる。						
	成果 策目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)																
単位:千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		平成26年度					平成27年度									
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	事業の内容 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・美化キャンペーンの実施(岩舟地域) ・健康野菜作り講座(岩舟地域) 【成果】 ・市民の苦情に対して適切な対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。					事業の内容 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・美化キャンペーンの実施(岩舟地域) ・健康野菜作り講座(岩舟地域) 【成果】 ・市民の苦情に対して適切な対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。									
	県支出金		0															
	地方債		0															
	その他特財		0															
	一般財源	144	278															
	事業費 a	144	278															
	人件費 b	2,250	2,250															
減価償却費 c		0																
総事業費 a+b+c	2,394	2,528	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地						
結果指標 1	28.00	12.00	環境美化に関する看板貸出枚数	岩舟地域の環境美化に関する看板貸出枚数 H27目標値 15枚	枚								妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	4,400.00	4,526.00	環境美化活動参加者数	美化キャンペーン等の参加者数 H27目標値 4,000人	人													
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・地域清掃活動が引き続き活発に行われるよう啓発・支援する。 ・今後ますます増加が見込まれる空き地の苦情に適切に対応する。																	
事後評価備考																		